

目標7000万円

日刊 動労千葉

87. 10. 27
No. 2688

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

冬季物資販売が本格的に始まる！ 全組合員の力で県内一全国を駆けめぐろう

動労千葉大会終了後、冬季物資販売運動本格的に始まった。動労千葉は、原職奪還の決定的なたたかいとして、財政基盤の確立と事業部運動の成功を目指している。その重要な柱が物資販売運動である。冬季販売の目標を貫徹するために、全組合員の総決起を訴えます。

解雇という兵糧ぜめを
打ち破ろう！

動労千葉の分割・民営化阻止闘争……あまりにも的を得た、労働者の正義を貫きとおしたたたかいであったことから日帝・中曽根、国鉄当局は、「公労法」の枠をも取りはらい、「動労千葉憎し、つぶせ」と、二八名解雇をはじめとするさまざまな報復処分を行った。ともかくにも、「動労千葉を財政的に破綻させ、ぶつぶす。」これが最大の狙いである。

われわれは、この動労千葉破壊攻撃を打破するため、物資販売をはじめとするたたかう事業部をつくりあげ、日本の労働運動史上はじめての試みに挑戦しているのである。

物資販売は支援拡大の
決定的武器

物資販売運動は、全国の苦闘する仲間との交流を掘り起こし、支援の輪を拡大する決定的な武器だ。

今日の労働組合の現実、御用幹部、屈服指導部が会社と一体となり、会社の「労務課」の役割を果たし、また、労働者を戦争体制へと動員しようという労戦「統一」へ大きく流れようとしているのである。現場の労働者は首切り、出向、配転、合理化、労働強化で辛酸をなめさせられているのだ。

しかし、全国では、そうした現状を打ち破ろうと不屈にたたかう仲間が存在し、御用組合のもとでも多くの労働者が不満をつのらせ、怒り、悩んでいる。「資本と労働者は水と油、絶対に相入れない」。多くの労働者が原則を貫く動労千葉に関心をもち、その一挙手一投足に注目していることは確実だ。

全国の労働組合をきめこまやかに訪問し、オルグし、動労千葉派をつくりあげるチャンスだ。

大量失業の時代に通用する
白刃の労働運動を！

今日、円高不況、株暴落などという危機のなかで、鉄鋼、自動車、造船という基幹産業でさえもが、企業を生き残りのために、労働者の首切りを強行している。失業率は戦後最大となり、第二次大戦前の「ウォール街の大暴落」が声高に叫ばれている。いまや、労働者は「生きる」ためのたたかいが切実に求められようとしているのである。

動労千葉のたたかう事業部運動は、大量失業時代、戦争と激動の時代に「生きかつ、たたかいぬく」展望を切り拓くものだ。

日目標貫徹！組合員は
ひとり二万円

ロコツな組合つぶし、出向、配転、差別・選別、賃金カット、人を人とも思わぬ経営側を許さず、「四・一」を粉砕するために動労千葉にかかった期待は大きい。たたかいぬくためには、「財政基盤の確立」が急務である。物資販売運動はその柱である。組合員の目標は一人二万円！商品は動労千葉協販部がえりすぐって選定した。御歳暮、プレゼントに最適。労組オルグを軸に、友人・知人への働きかけを！全組合員の総決起をお願いします。

11月3日 千葉市弁天小学校
OJCC分属会
結 祭 典
